

令和元年度第1回ヒューマン遊学

6月25日(火)、佐賀町民館で令和元年度第1回ヒューマン遊学が開催され、住民など約45人が参加しました。

ヒューマン遊学は、異国の文化や風土・歴史を学び、お互いを認め合おうと、平成21年度より行われています。今回は平成27年9月から2年間で、ベリーズで青年海外協力隊として活動し、その様子を当広報紙に寄稿していた侑子・ピーティさん(旧姓・徳永侑子さん)を講師として招きました。侑子さんは結婚を機に、ニュージランドで生活しており、そこで感じたことや日本との違いを写真などを交えながら話しました。

来場した女性は、「一度ニュージランドに行ったことがあるが、そのときもエコ意識の高さや福祉



講演を行う侑子・ピーティさん

制度などの違いに驚いた。今日の話聞き、日本ももっと勉強しないとイケないと感じた」と話しました。

南郷小児童ら魚捌きを体験

高知県による水産物食育推進事業の一環として行われている「あの魚屋さんがやってきた」が7月9日(火)、南郷小学校の5・6年生18名を対象に行われました。

同取組は、子どもたちが地元の鮮魚店などから魚の捌き方を教わり、調理して味わうことで、魚を好きになってもらうことや県内の魚の消費量の増加を目的に、平成25年から実施されています。今回は、町内で鮮魚の卸売業を営む北山洋一さんが講師を務め、1匹500gほどのゴマサバを捌きました。

こつを教わりながら包丁でサバを3枚におろした子どもたちは、その後、そのサバを使ったムニエルなど、計4品を作り試食しました。6年生



こつを教わりサバを捌く児童

の大西亮さんは、「魚はあんまり好きじゃなかったけど、自分で捌いた魚は美味しかったです」と話しました。

プロゴルファーと研修生が合宿

7月9日(火)から12日(金)まで、プロゴルファーと研修生10名が土佐ユートピアアカントリークラブで合宿を行いました。

同合宿は、昨年より大学などのゴルフ合宿の誘致に力を入れる町スポーツツーリズムゴルフ実行委員が、「プロゴルファーも合宿する町にしたい」と森岡賢プロコーチに声掛けしたことがきっかけとなり、モニターツアーとして実現しました。

11日(木)には、選手らが本庁を表敬訪問し、関係者を前に今後の目標などを話し、町からメロンが贈呈されました。また、今後の誘致活動拡大のための意見交換会が行われ、プロ選手らがコース上で感じたことや宿泊施設の改善点を確認しました。

森岡プロコーチは、「いい環境で練習できた。また冬の合宿などを検討したいと思う。今後は、4大メジャー大会に出られる選手を育てたい」と話しました。



合宿に参加したプロゴルファーら

を檢討したいと思う。今後は、4大メジャー大会に出られる選手を育てたい」と話しました。

第13回黒潮町子ども会球技大会

7月13日(土)、子ども会育成連合会と教育委員会の主催で、子ども会球技大会(ドッジボール)が土佐西南大規模公園体育館で行われました。

町内の子ども会や学校から高学年の部6チーム、低学年の部5チーム、計158名が参加し、児童たちは日頃の練習の成果を発揮し熱戦を繰り広げました。

【高学年の部】

優勝 新・三浦ファイターズ
準優勝 田ノ口A
第3位 上川口A

【低学年の部】

優勝 上川口B
準優勝 田ノ口B
第3位 三浦オリオンズ



新・三浦ファイターズ



上川口B